

船舶事故等調査報告書

平成24年3月29日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011広第208号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成23年9月13日 18時00分ごろ	
発生場所	岡山県 <sup>たまの</sup> 玉野市 <sup>やまだ</sup> 山田港 玉野市所在の大蛭島灯台から真方位344° 1.7海里付近 (概位 北緯34° 32.4′ 東経134° 00.3′)	
事故等調査の経過	平成23年12月6日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 <sup>たいへい</sup> 泰平丸、499トン	
船舶番号、船舶所有者等	134782、大央商運株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船底に擦過傷	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか4人が乗り組み、食塩約1,294tを積載し、船首約3.34m、船尾約4.50mの喫水で山田港内を約3ノット(kn)の対地速力で南南東進中、平成23年9月13日18時00分ごろ浅所に船底が接触した。</p> <p>船長は、山田港内に浅所があることを知っていたが、今まで無事に航行できたことから、本事故発生時も無事に航行できると思い、水深の確認を行っていなかった。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 東南東、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 ほぼ低潮時、潮流 約0.6knの西流、潮高 約2.8m</p>	
その他の事項	<p>本船は、毎月約1回山田港に入港していた。</p> <p>4人の乗組員は、出港配置に就いていた。</p> <p>本船は、本事故発生当時、レーダー及びGPSプロッターを作動させていた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、山田港内を低潮時に南南東進中、船長が水深の確認を行っていなかったことから、船底が浅所に接触したものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、山田港内を低潮時に南南東進中、船長が水深の確認を行っていなかったため、船底が浅所に接触したことにより発生したものと考えられる。	
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浅所を航行する場合、潮高を調査し、本船の喫水を確認して航行の可否を判断すること。</li> </ul>	

